

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0170502496		
法人名	有限会社 時館		
事業所名	グループホーム あいある石山		
所在地	北海道札幌市南区石山2条4丁目1-50 (電話) 011-299-8071		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年10月19日	評価確定日	平成19年11月7日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 2月 12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 10人, 非常勤 9人, 常勤換算 10人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000・60,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有() 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (家賃の1か月分) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,400 円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	9 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5		要支援2	1 名		
年齢	平均 81.5 歳	最低	60 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小笠原クリニック札幌病院(内科・外科) さくら歯科南クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

玄関横から車椅子でも散歩できる遊歩道があり、裏庭のウッドデッキでは畑や花壇を眺めながら日光浴や食事、新緑や紅葉などの季節感を味わえるように配慮された環境の中にあるグループホームである。また、理念に基づき職員が作成した介護指針5項目の実践に向けて日々ケアサービスの質の向上に取り組んでいる姿が伺えた。管理者・職員は、行事や物品の管理などそれぞれの責任の元で企画書を作成してボランティアや家族への行事参加を促したり、児童会館の子供達が環境問題についてホームで発表会をする機会を作ったり、地域のボランティアがホーム主催の行事に参加して交流するなど地元の人達との交流にも取り組まれている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、注意の必要な物品の管理について改善点が挙げられていましたが、薬や洗剤、刃物等については保管場所、保管方法が適切に実施されていることが確認されました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員の研修や改善の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され、そこでの意見などを改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。主な議題については 地域との交流促進について 裏庭の整備状況について 利用者の日常生活や行事参加の様子について 職員の内部・外部研修について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月「あいある石山通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、運営推進会議の報告や金銭出納についても家族に情報提供されて、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、個々の職員の紹介についてもその日の勤務状況が家族に分かり易いように掲示されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	盆踊りや花火大会など地域の行事への参加や近隣への散歩やスーパーでの買い物、児童会館の子供達との交流や運営推進会議を通じて町内会との交流、近隣住民のボランティアの受け入れなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念をもとに、職員の意見を集約して作られた介護指針で利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を共有して、理念を達成するために具体的な実践に向けて日々取り組んでいる。		個々の職員の責任の元に行事などの企画をしたり、見えない場所での在庫管理の把握や観葉植物、花壇などの世話など目標を持って取り組んでいる。今後も継続されていかれることを楽しみにしております。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	盆踊りや花火大会など地域の行事への参加や近隣への散歩やスーパーでの買い物、児童会館の子供達との交流、近隣住民のボランティアの受け入れなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員の研修や改善の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され、そこでの意見などを改善の機会として取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表、包括支援センター、管理者・職員で構成され地域との交流促進について具体的に取り組んでいる。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者・職員は、市との連携の重要性について理解し、火災避難訓練などで市と共にサービス向上に日々取り組んでいる。		今後はさらに、地域と密着して交通安全や介護保険について講座を開催していく計画が検討されている。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「あいある石山通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、運営推進会議の報告や金銭出納についても家族に情報提供されて、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。		今後は、「あいある石山通信」を毎月発行しているので、認知症の理解や啓発を深める為に「認知症豆知識」など簡潔に掲載していくことが検討されている。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自己評価・外部評価の結果や運営推進会議の内容について家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	個々の職員の紹介については、その日の職員の勤務状況が家族に分かり易いように共用空間に掲示するなど家族に情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会などの外部の研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、毎月開催される職員ミーティングで内部研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。</p>		<p>今後は、ホーム内での講座などの実施でさらに内部研修を充実していく計画が検討されている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区の協議会や包括支援センターでの交流、外部の講師を招いての研修会の開催など施設との交流推進など開かれたグループホームである。</p>		<p>今後は更に、職員の相互訪問ができるように検討されている。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には、利用者が安心して、納得した上でサービスが利用できるように事前に見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で一人ひとりの「私の気持ち」をスタッフ間で共有して、散歩や買い物、花見など積極的に外出の機会を多く作ったり、ぬり絵や書道、紙細工などの趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、センター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、地域行事への参加や理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、看護師が配置され利用者、家族の希望や要望や状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し話し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけなど支援するよう取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式の「24時間アセスメントシート」で個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、利用者一人ひとりの思いを尊重して散歩や買い物、食事の準備、趣味への支援など本人の希望やペースに沿って支援している。		センター方式をさらに充実させていくように研修の機会も計画されている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。食事中は、和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は2回/週に決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、ぬり絵や紙細工、書道や和歌、食事の準備、回転寿司などの外食や買い物、気分転換のための花見や水族館見学など外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、花見や弁当持参でのドライブ、温泉入浴や足湯など気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や居室は、鍵をかけないケアに取り組み、利用者が外出する時は職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備についても自主点検が実施され対策されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気になる音の大きさや臭いは感じられない。また、共用空間には、観葉植物が多く育てられたり、畳のコーナーも設けられ利用者の作品が飾られたり楽しい空間となっている。廊下には椅子が配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、裏庭にはウッドデッキがあり畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて家族の写真や趣味の紙細工、ぬり絵が飾られ利用者一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。